

2022年度キャンパス魅力向上運動

キャンパス魅力向上運動は、魅力あるキャンパスづくりを目的として産業能率大学後援会の主催により1996年度から毎年行われています。「どうしたら大学生活が面白くなるのか」「どんな大学なら誇りがもてるのか」、そのための企画を学生自身が考えて実行しています。承認された企画内容は一企画につき最大20万円まで活動に係る実費を後援会にて支援しています。2022年度における学生たちの取り組み(全10団体)について、ご紹介いたします。

3月4日(土)、各実行団体の学生から後援会幹事に向けて、活動内容の「オンライン報告会」が行われ、鈴木会長より学生に向けた総評がありました。

※順不同

企画名

ブラインドサッカー体験会

団体名

中川ゼミ有志

内容

ブラインドサッカーチームであるブエンカンピオ横浜のご協力のもと、ブラインドサッカー体験会を通し、地域の小学生に「協力しあうこと」の大切さや共生社会について理解していただく機会を提供した。



湘南キャンパス



企画名

Let's! チャレンジ

団体名

中川ゼミ14期生有志

内容

授業「スポーツプロモーション」のサポートイベントとして、手づくりジャンボゼンガである「チャレンジ」を用いたイベントを開催した。参加者には、人と協力して目標にチャレンジすることの楽しさを感じていただく機会を提供できた。



企画名

第10回 SANNO OPEN

団体名

女子ビーチバレー部

内容

日本ビーチバレーボール連盟公認の大会をキャンパス内のビーチバレーコートにて開催した。出場チームへの新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したほか、大会の様子はTwitterやInstagramにて、実況付きのLive配信を行う等の工夫を取り入れた。企業等からの協賛金や大会参加費の一部を伊勢原福祉のいずみ基金へ寄付することで、スポーツを通じた地域貢献を図った。



企画名

農福学官連携事業（大磯町福祉作業所等連絡会が製造したパンの販売、支援）

団体名

小柴ゼミ有志

内容

湘南ゴールドやくりまさり等の地元食材を使ったパンの製造を企画し、大磯町福祉作業所等連絡会による新作パンの販売を支援し、障がい者が社会参画するための機会を広げた。



企画名

Scratchを使ったものづくりワークショップの開催

団体名

SANNO Scratch TEAM

内容

プログラミング教育ソフト「Scratch」を使って、地域の小学生や園児を対象としたワークショップを企画・運営した。参加した児童や園児には、プログラムによって絵や人物が動く面白さを感じてもらうことができた。



企画名

専門ゼミにおける学生生活の記録文集の作成

団体名

2022年度卒業漆田ゼミ有志

内容

学生生活を振り返り、ゼミ活動の記録として、各自が関心のあるテーマにてレポートを書き、ゼミ生のプロフィールや先生の通知帳なども加えて文集にまとめ、保護者や後輩に配布した。



企画名

産業能率大学保護者向け新聞制作

団体名

学生新聞制作隊

内容

キャンパス全体を学生の視点から取材・撮影し、インタビュー記事等を交えながら、保護者の皆さんにより深く大学の様子を理解していただいた。



企画名

レトルト食品販売ポスター制作

団体名

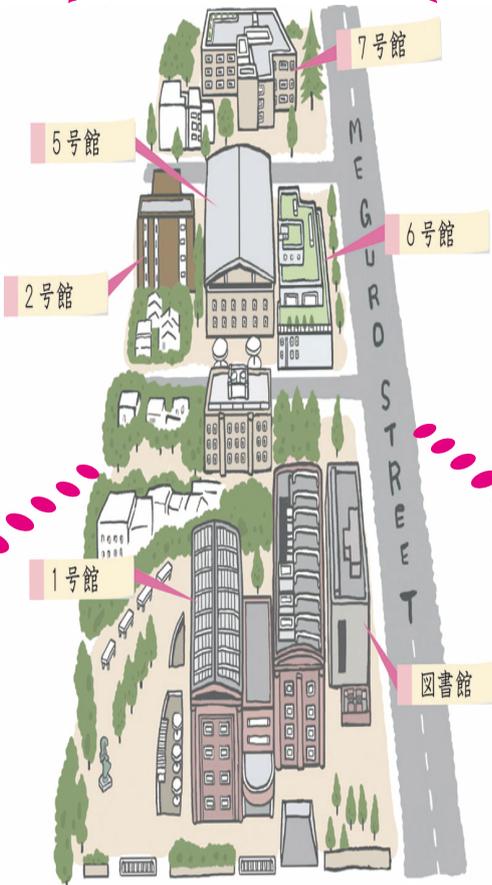
広告研究会

内容

地下売店で販売するレトルト食品「マイサイズ」を周知するポスターを作成し、キャンパス内に提示した。売店や商品のキャンパス内での周知を高めた。



自由が丘キャンパス



企画名

セザンジュおすすめ事典

団体名

セザンジュ

内容

経営学部生にとって最も身近な街である「自由が丘」。そんな、自由が丘のお店やストリートについて、もっと知りたいと思う学生に向けて、「自由が丘の街案内人」であるセザンジュが話題のお店を取材・編集し、ガイドブック形式の冊子として発行し学生へ配布した。自由が丘という街の魅力をあらためて学生に認識してもらうと共に、日頃より経営学部生と街がつながるきっかけを提供した。



企画名

キャップ回収による発展途上国支援

団体名

Sanno Red Cross

内容

「ペットボトルキャップを途上国へのワクチンへ生まれ変わらせよう」のスローガンのもと、自由が丘キャンパス内にあるペットボトルごみ箱の横にペットボトルキャップ回収ボックスを多数設置し、計量のうえ、業者へ回収を依頼した。

